



# ろうきょう通信

— 労供労組協事務局ニュース —

発行：労供労組協事務局  
〒110-0003 台東区根岸 3-25-6 77 110 根岸 2F  
TEL:03-5603-7880 FAX:03-5603-7265  
E-mail:roukyo@union-net.or.jp  
URL:http://www.union-net.or.jp/roukyo

## 10月4日、労供労組協第3回4役会議開催される ～公務労供に向けて～ 官製ワーキングプアー研究会、白石理事長と懇談

去る10月4日(金)、労供労組協事務所(東京都台東区)にて、7名参加の下、労供労組協第3回4役会議が開催されました。

最初に官製ワーキングプアー研究会の白石孝理事長との懇談を行いました。

白石理事長からは非正規職と外部委託増加の経過と背景、現在の地方自治体の非正規職員数、非正規公務員の格差といった話がありました。

今年の4月1日時点で地方自治体の非正規労働者数は約122万人、30.6%となっているそうです。しかも住民生活に近い部分(例として、図書館員73.3%、給食調理員69.8%、保育士56.9%、婦人相談員79%など)で非正規率が高くなっており、女性が圧倒的に多いというジェンダー問題もあるとのことでした。

韓国における非正規労働者との比較で、韓国では公共事業をより豊富化する目的での委託となっているが、日本の公共団体は財政削減が主目的で安上がりが第一とされており、委託を行った場合、役所からは手を離れて委託業者に任せっきりで、公的責任を負わないといった状況があるとのことでした。

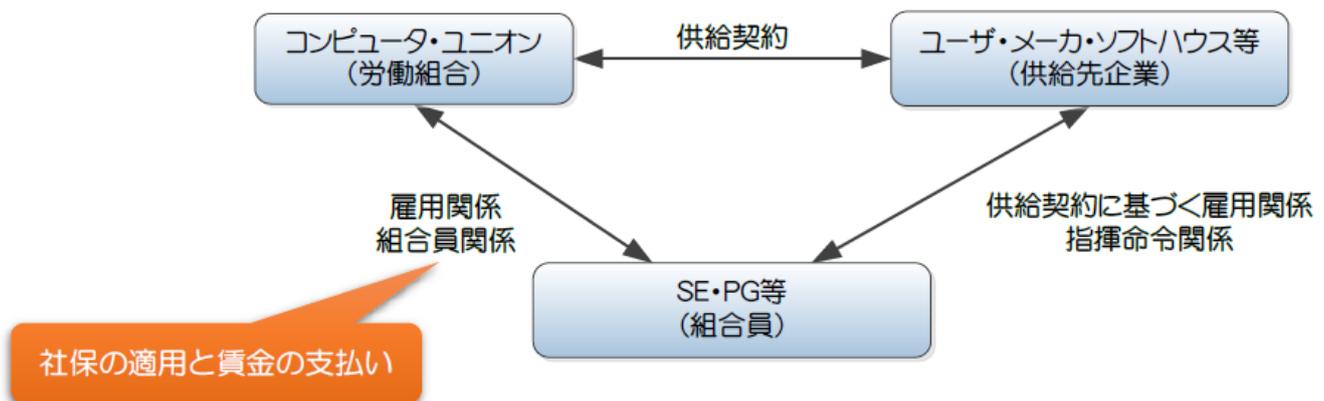
労供労組協からは今期方針に掲げている公務労供について話をしました。

供給労働者の社会・労働保険の適用において、供給元組合でそれが実現(下図参照)できるようになり、公務における労働者派遣を労働者供給に置き替えるという話をしました。

白石理事長からは公務労供についてのアプローチとして、自治労や自治労連にも話をし、協力を得ること、議会で外部委託が住民サービス公共サービスのためになっているか、プラスになっているかどうかを検証しようという中で委託のあり方について、その自治体議会の議員に取り上げてもらうなかで公務労供についての意味・意義を訴えていくといったことが必要ではないか、とのアドバイスがありました。

白石理事長の話、アドバイスを元に公務労供プロジェクト発足に向けて運動を進めていきます。

### 【供給元での社保適用、コンピュータ・ユニオンの例】



※上記供給では供給元労働組合と供給先企業に2重に雇用されることになります。

# 9月15日の労供労連第37回執行委員会で決議 労供労連が労供労組協を脱退

日本労働組合総連合会（以下、連合）加盟の新産別運転者労働組合（以下、新運転）と日本自動車運転士労働組合（以下、自運労）は連合内で全国労供事業労働組合連合会（以下、労供労連）を作り、現在は労供労連として労供労組協に加盟しています。

この労供労連の発足前は、新運転と自運労、それぞれ個別に労供労組協に加盟していました。

去る9月15日に開催された労供労連第37回執行委員会で、労供労組協の脱退を決議しました。

従来新運転と自運労は従来日々雇用の形で労供事業を行ってきており、（現在では、ごみ収集作業員など社会・労働保険適用での労供事業もあります。）その点で他組合の労供事業との違いがあり、日雇い問題については労供労連として独自に行っていくとのことでした。

労供労組協としては、過去に対して日雇いに関する要請も何度か行っているだけに労供労連の脱退は大変残念に思います。

なお、労供労連の脱退は正式には来年6月に開催される労供労連総会で決定されるということです。

## 労供労組協の個人加盟を検討

労供労連の事実上の脱退表明を受けたこともあり、労供労組協の労供事業運動をさらに推進させるため、労供労組協への個人加盟を検討することし、次回12月13日の4役会議では個人加盟についての具体的な案が事務局より出されることになりました。

国学院大学の労供研究会（[労供研究会 \(k-rokyoken.jp\)](http://k-rokyoken.jp)）をはじめ、関係する多くの方々にもご参加いただき労供事業運動を進めていきたいと思っております。

### 労供労組協 2024 年度 秋の学習会&幹事会のお知らせ

1. 日 時：2025年2月16日（日） 13:00～17:00（夕食・交流会 18:00～）  
17日（月） 9:00～12:00

2. 場 所：マホロバマインズ三浦（予約の関係で変更になる場合があります。）

〒238-0101 神奈川県三浦市南下浦町上宮田 3231

フロント代表：046-889-8900

3. 講 演：テーマ「派遣に替わる労供の可能性と課題」（仮題）

講師 武井 寛（たけいひろし）龍谷大学法学部教授

4. 参加費：16,000円

※初日のみのご参加で夕食・交流会までご参加の場合は 8,000円、会議のみご参加の場合は 3,000円

※当初11月24日（日）、25日（月）で予定していましたが、都合により日程が変更になりました。

関係者には来年、1月に改めてご案内いたします。その際、出欠等お知らせいただきます。

